

科目名 (Eng)		輸送施設工学 (Transportation Facilities Engineering)							
担当教員		西尾 保之							
対象学年等		学科・学年		授業期間・区分・単位数・時間数			分野	形態	学修単位科目
		建設環境工学科	5	前期	選択	1	(30)	専門	A
目標基準との対応	福島高専の教育目標との対応：(B-2)								
	卒業時に身に付けるべき学力や資質・能力との対応：2)								
		JABEE基準1(1)との対応：(d)-(2)-a)							
授業の概要と方針		港湾、空港に関する基礎的知識を理解させ、港湾、空港施設の調査、計画、設計等に活用できる能力を養う。							
到達目標		①港湾、空港の施設に関する知識を習得し、専門用語が理解できる。 ②港湾、空港の調査、計画等に関する基礎的な事項が理解できる。							
授業計画									
	週	授業項目	理解すべき内容					準備学習	
前期	1	序論	輸送施設全般						
	2	運輸施設の状況と計画(1)	輸送モードと機関分担、輸送施設の整備状況、全国計画					課題資料の配付	
	3	運輸施設の状況と計画(2)	交通施設の計画、交通調査、需要予測、費用対効果分析					課題資料の配付	
	4	港湾計画(1)	港湾の種類、役割、港湾施設の種類					課題資料の配付	
	5	港湾計画(2)	港湾施設の計画					課題資料の配付	
	6	港湾計画(3)	港湾施設の構造						
	7	前期中間試験							
	8	現場見学	小名浜港の諸施設						
	9	現場見学	小名浜港の諸施設						
	10	空港計画(1)	空港の種類、空港施設の種類					課題資料の配付	
	11	空港計画(2)	空港施設の計画						
	12	現場見学	福島空港の諸施設						
	13	現場見学	福島空港の諸施設						
	14	現場見学	福島空港の諸施設						
	15	まとめ	前期期末試験解答用紙の返却、解説						
後期	16								
	17								
	18								
	19								
	20								
	21								
	22								
	23								
	24								
	25								
	26								
	27								
	28								
	29								
	30								
試験について		中間試験は授業時間中に50分間の試験を実施。期末試験は50分間の試験を実施。							
評価方法		定期試験の成績を80%、課題、小テスト等の平素の成績を20%として総合的に評価する。							
教科書		プリント配布							
参考書		数字で見る港湾（（社）日本港湾協会）、数字で見る航空（航空振興財団）							
関連科目									
履修上の注意		港湾及び空港の現場見学を実施し、これらに関する内容も定期試験の出題範囲とするので注意すること。							